

総合的な学習の時間 単元指導計画 3年

単元名	校区のお年寄りとおふれあおう	2 1 時間
目標	<p>○ お年寄りの気持ちを考えて一緒に楽しめるような交流会をするために、自分が知りたいことややってみたいことを課題として見つけ、お年寄りの視点に立ってどんな工夫をすればよいのか考え、交流を深めていくことができる。(思考・判断・表現)</p> <p>○ お年寄りの願いや昔の話を聞き取り、お年寄りに対する今後の自分の考えをまとめ、ひらばるの家でのお年寄りとのふれあいに関心を持ち、相手の立場に立って交流することができる。(主体的な態度)</p> <p>○ 地域のお年寄りの優しさや支援している人の思いやりに気づき、お年寄りと親しく関わるために自分ができることを考えたり行動したりすることができる。(知識・技能)</p>	
配時	学 習 活 動	教 師 の 支 援
1	<p>(1) 校区の実態を知り、課題をつかむ。</p> <p>○ 平原校区に住む人は、お年寄りの割合が非常に高いという実態を知り、お年寄りとの関わりについて課題をつかむ。</p>	<p>○ 大牟田市民の年齢層の割合や、平原校区の割合を絵図で示し、課題をつかませる。</p>
2	<p>(2) 地域に住むお年寄りの方と出会い、思いや願いをとらえる。</p> <p>○ 地域の高齢者の方の思いや願いについて話を聞き、自分たちとのふれあいが大きな喜びであることを知る。</p>	<p>○ 地域に住むお年寄りの方の思いや願いを話し、これからの活動の計画を立てさせる。</p>
1 2	<p>(3) 絵本教室の方を呼び、認知症について学習する。</p> <p>(4) ひらばるの家訪問の計画を立てる。</p> <p>○ 日程や内容について計画を立てる①</p> <p>○ 交流会の準備と練習をする。④</p> <p>○ ひらばるの家へ行き、交流する。</p> <p>(5) ひらばるの家訪問の計画を立てる。</p> <p>○ 学んだことを生かすために、再度訪問する。</p> <p>○ 交流した感想を出し合って活動を振り返る①</p>	<p>○ 絵本教室の方に来ていただいて、認知症についてお話ししていただく。</p> <p>○ 活動内容や伝え方について例示をする。</p> <p>○ 学んだことを生かすために、再度ひらばるの家訪問の計画を立てさせる。</p>
6	<p>(5) 地域のお年寄りの方の思いや願い、自分たちが活動してきたことを、他学年や保護者へ向けて発信する。</p> <p>○ 学習してきたことをまとめる。②</p> <p>○ 学習してきたことを、他学年や保護者へ向けて発表する。①</p>	<p>○ 分かりやすくするために、絵図であらわし、説明の構想を考えさせる。</p>